
赤潮注意報続報（シャットネラ マリーナ）

鹿児島県水産技術開発センター
 令和5年7月20日

鹿児島湾 赤潮注意報 No.2-2

[1] 7月20日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡ではシャットネラ マリーナは確認されませんでした。濃縮検鏡で0.008細胞/mL (St.③), 0.007細胞/mL (St.⑪) 確認しました。

珪藻類はSt.②で少なく、St.①, ③, ④, ⑤はやや多く、他は多い状況でした。

(2) 海況

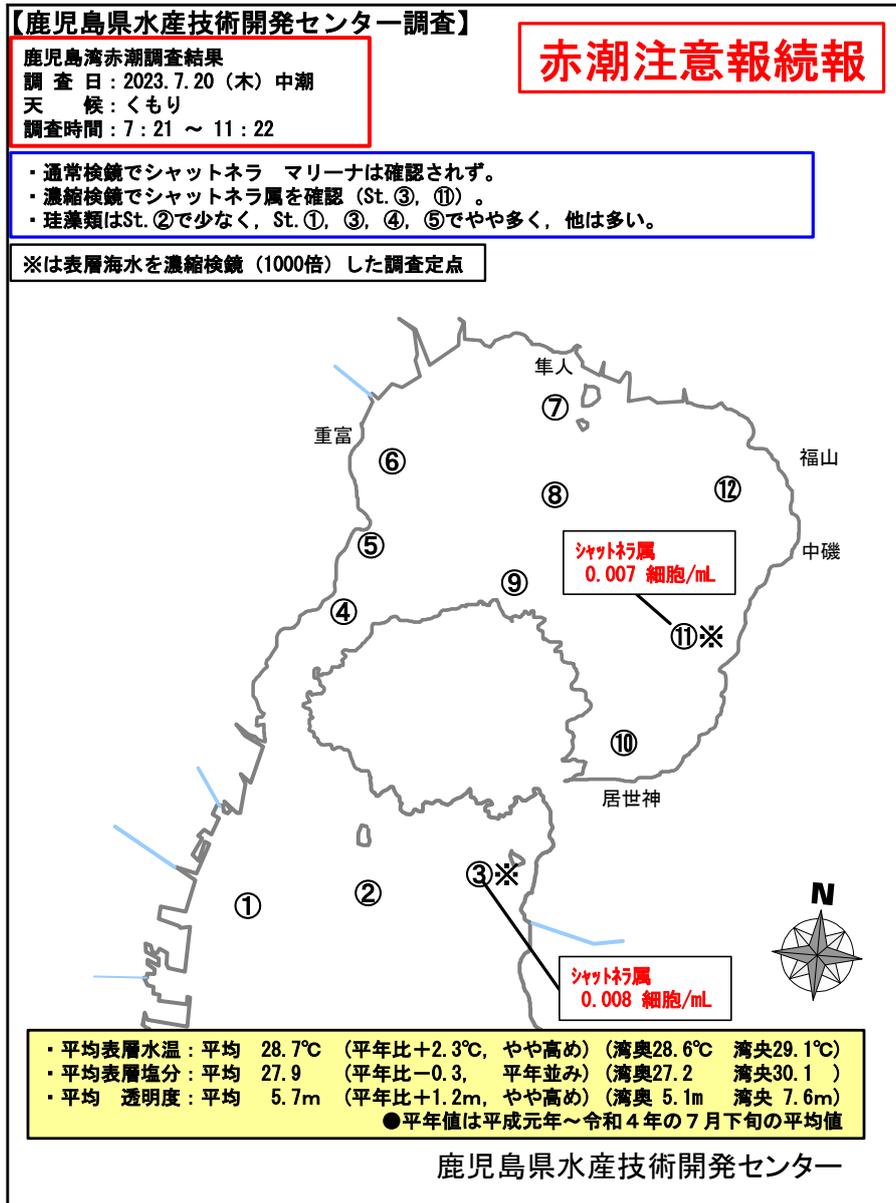
平年値と比べ、表層水温はやや高く湾奥部で27.4~29.1℃、湾中部で28.9~29.5℃。表層塩分は平年並みで25.5~30.7、透明度はやや高く4.0~11.0mとなっています。

水温：平均 28.7℃ 湾奥部 28.6℃ 湾中部 29.1℃

塩分：平均 27.9 湾奥部 27.2 湾中部 30.1

透明度：平均 5.7m 湾奥部 5.1m 湾中部 7.6m

(平年値は平成元年~令和4年の7月下旬の平均値)



[2] 今後の赤潮発生の予想
 今回の調査で、有害種であるシャットネラ マリーナは減少傾向でした。

現在は競合種である珪藻が多いものの、今後の状況によっては増殖する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、注意をお願いします。

※シャットネラ マリーナの特徴

- ・適水温23~26℃
- ・適塩分30以下
- ・魚毒性が強く、致死細胞密度はブリ及びカンパチで約2,000細胞/mL

(次回調査は8月上旬を予定)

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

